

お願い①

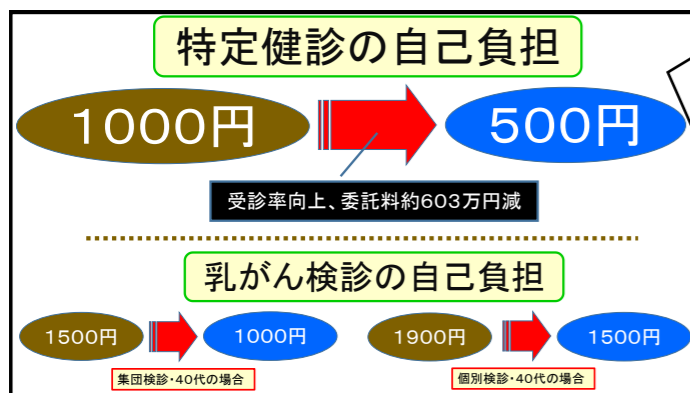
九州豪雨で甚大な被害発生 死者32人、不明14人
朝倉市、東峰村、日田市等への義援金の
ご協力をお願いします！



義援金箱の設置場所
古賀市役所
サンコスモ古賀
リーパスプラザこが交流館
平日の8時30分から17時まで。(交流館は開館日)
8月25日まで設置されます。義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送られます。

お願い②

特定健診を受診しましょう！
今年から自己負担が500円に減額されました
9月、10月、11月の集団健診は
まだ申し込みが間に合います
医療機関は11月30日まで受診できます



集団健診の申し込みは、はがき、電話、インターネットでできます。
「けんしん割」
「人間ドック助成」等お得な制度もあります！

●お問い合わせ 古賀市予防健診課 健診指導係
092-942-1151

報告①

継続審査になっていた「まちづくり基本条例」
議会で可決され、6月30日に施行

2017年3月議会 まちづくり基本条例案提出
総務委員会で継続審査

総務委員会は修正した上で可決(賛成3、反対2)
「市民の定義」の修正など

ぬま健司ほか2人で修正案提出
議会基本条例に基づく議会・議員の責務明記
市長の総合振興計画策定義務・議会議決明記

6月26日の本会議で採決
ぬま健司提案修正案 賛成6、反対12で否決
総務委員会修正案 賛成7、反対11で否決
原案 賛成14、反対4で可決

第4号議案「まちづくり基本条例」に対する各党派・議員の賛否(2017年6月26日)

会派名	議員名	奴間健司ほか2人の議員提案修正案	総務委員会の修正案	原案
希来里	奴間健司	賛成	反対	賛成
	村松謙二	賛成	反対	賛成
山海会	田中英輔	賛成	反対	賛成
	古賀誠視	賛成	反対	賛成
	伊東洋子	賛成	反対	賛成
無党派	内場恭子	賛成	反対	賛成
連	阿部友子	反対	賛成	賛成
	吉住長敏	反対	賛成	賛成
	清原哲史	反対	賛成	賛成
志成会	岩井秀一	反対	賛成	賛成
	姉川さつき	反対	反対	賛成
	高原伸二	反対	反対	反対
自由クラブ	松島岩太	反対	反対	反対
	渡孝二	反対	反対	反対
	福崎智之	反対	反対	反対
無党派	森本義征	反対	賛成	賛成
公明党	井之上豊	反対	賛成	賛成
	平木尚子	反対	賛成	賛成
(議長)	結城弘明	議長は表決には加わりません。可否同数の場合は議長裁決で決めます。		

報告②

古賀市の「ふるさと応援寄付」
2015年度 1300万1千円
2016年度 1億2471万8千円
2017年度 3億円見込み
返礼品経費、市民税減収を差し引くと赤字の可能性も

2015年度の古賀市の「ふるさと応援寄付」は1300万1千円でしたが、市民税減収額1573万7千円、返礼品等経費218万7千円で収支は492万3千円の赤字でした。

2016年度は、寄付額1億2471万8千円、返礼品等経費5400万1千円で差し引き7071万7千円でした。市民税減収予定額は7月末までには確定しますので、その時点で全体の収支額が赤字か黒字かがわかります。



古賀市の返礼品はほとんどが寄付額の3割程度。

市としては総務省の通達に応じる予定です。

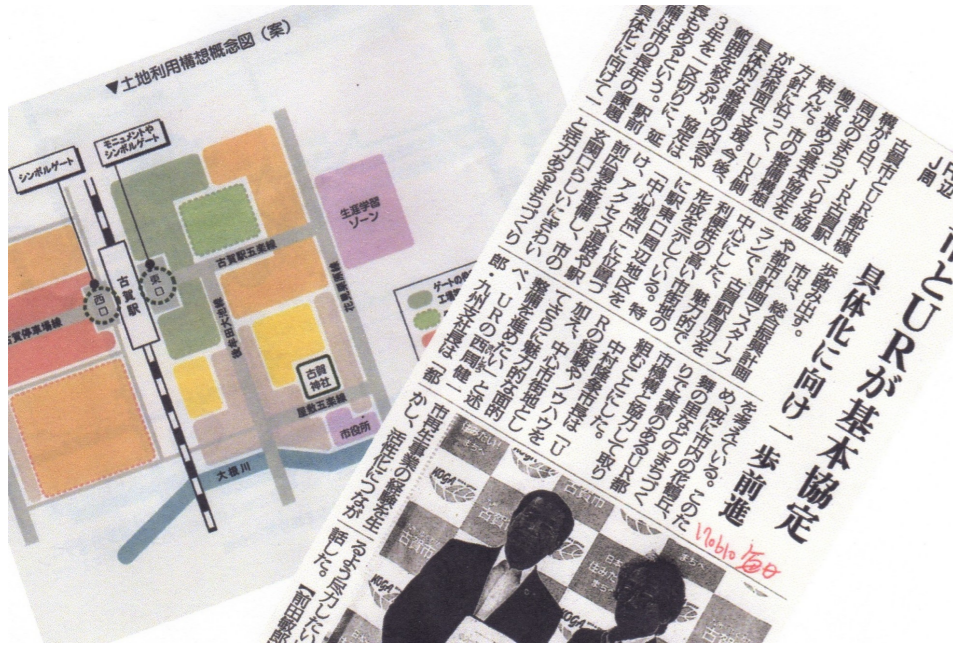
ぬま健司のニューズレター(6月定例議会結果の速報)
2017年7月15日(土)
(自宅)古賀市花見東5-4-10
(携帯)090-3664-1674



報告③

古賀駅東口の再開発問題 古賀市とUR都市機構が基本協定を締結 駅周辺の活性化がどう進むのか？

古賀駅東口の開発問題は大きな課題です。
2014年度は657万8千円をかけて「基本構想」を策定しました。2016年度は769万円をかけて「JR古賀駅東口周辺土地利用事業化検討委託」をしました。検討の必要から2017年度に繰り越されました。
そして4月以降、URとの協議が急進展し、6月9日に基本協定を締結しました。中村市長は、「これまで1400万円かけた基本構想等との整合性を取るかどうか最初から決める必要はない」、「UR側がどういう計画を出してくるかはわからない」と述べています。駅前工場の移転問題を含め先行きは不透明です。



古賀市内では開発が進んでいます！

- ①花見東2区内の凸版跡地で宅地造成が完了しました。
- ②舞の里でビッグモーターに続いて「わいわいファーム」がオープンしました。ケーズデンキの建設工事が進んでいます。
- ③高田でハローデイ、マンション、戸建て住宅、スポーツジムの建設も進んでいます。
- ④サンコスモ入口交差点で、ガソリンスタンドと飲食店の建設工事が進んでいます。
- ⑤筵内の玄望園の企業誘致に関する業務代行業者が決まりました。

報告④

花見東2区内の宮地岳線跡地 海側から小学校側への「抜け道」は切実な要望 早期実現に向けて検討中です

宮地岳線跡地の市営花見団地や松籟苑側から花見小学校側へ抜ける道について、建設課と管財課が検討しています。この件については地元区長も要望しています。
災害が発生した場合、海側から花見小学校方面に避難するルートは元の踏切跡しかありません。時間が掛かり大変危険です。また日常的にも買い物や通学にとって、現在は遠回りを余儀なくされています。「抜け道」の実現は切実な要望です。
跡地の本格工事にはあと10年程度はかかります。
宮地岳線跡地を横断する「抜け道」が一日も早く実現できるよう働きかけていきます。

報告⑤

花見小学校で被爆クスノキ2世の苗木を植樹 6年生全員が花見校区在住の 被爆者のお話を聞きました

6月30日、花見小学校の6年生は被爆クスノキ2世の苗木を植樹しました。古賀市は長崎市、広島市が呼びかける平和首長会議に加盟しています。そして長崎市から被爆したクスノキの苗木を提供して頂き、市役所前、古賀中校区で植樹されました。今年度は古賀北中校区で植樹されました。
この日は花見東1区に住んでいる被爆者の立花昌子さんのお話を聞きました。6年生は秋には長崎に修学旅行に行きます。



事前の平和学習になりました。子どもたちは真剣にお話を聞いていました。
写真は植樹の後、水やりを行っているところです。

報告⑥

職員の不祥事問題・飲酒のうえ窃盗容疑で逮捕 検察は諸般の事情を配慮し「不起訴処分」 市長は「6ヶ月の停職」と「降任処分」としました

私は6月21日、この問題について一般質問で中村隆象市長の見解を求めました。
私は主に次の3点を求めました。
①記者会見で市民に対する説明責任を果たすべきである。市民は納得していない。
②市長、副市長、教育長の3役の減給処分が必要である。
③飲酒運転を許したことを重く受け止め、飲酒運転撲滅の対策を強化すべきである。
中村隆象市長は以下のような答弁をしました。
①緊急記者会見は行っていないが記者懇談会で説明していると述べるだけで、記者会見を行う姿勢は示しませんでした。
②様々な事例を検討し、市長をはじめとする上司の処分は必要ないと判断したと答弁しました。
③本人は問題を起こす前にタクシーを呼んでおり飲酒運転する意思はなかった、失錯行為とも言える事象で「普通の飲酒運転とは違う」という趣旨の答弁をしました。

古賀市は幹部職員の不祥事だけではなく県管理河川からの違法取水問題など新聞、テレビで放送されるような不祥事が続きました。市民の市政に対する信頼は損なわれ、古賀市のイメージはダウンしました。
6月21日の私の一般質問に対する中村市長の答弁では信頼回復にはつながりませんでした。かえって不信感が強まってしまったと感じました。みなさんはどう思いますか？

職員不祥事問題
職員の不祥事等をどう思うか。
不信感、不安感を与え申し訳なく思う。職員全員が、服務規律の徹底、綱紀の保持に努める。

記者会見をやるべきではないか。
緊急記者会見はやっていないが定例（記者懇談）会で説明している。

停職6ヶ月、課長補佐への降任処分という懲戒免職の次に重たい処分としたのは飲酒運転をしたからか。
飲酒運転したと判断している。

市長、三役の減給処分は最低必要だったのではないかと。飲酒運転撲滅の声を上げていないのは不思議だ。
失錯行為という論理的に説明できない行為であり、通常の飲酒運転とは違うと考えている。飲酒運転撲滅は今後も取り組む。

6月21日の一般質問
市長

事件当日の状況、相手方への謝罪等誠意ある対応を行っていること、また、これまで処分歴がないこと、職員の勤務態度、他自治体での処分事例、なおかつ検察の判断として不起訴となった事実を踏まえ、総合的に判断し、免職の次に重い「停職6ヶ月」という処分を下した。（6月23日談話）
一般質問の二日後にホームページで談話を発表した。そこには飲酒運転のことは全く触れていない。なぜ免職の次に重たい処分にしたのか理由を避けている。

私は市長による説明責任と3役の減給処分を求めました（6月21日）